

連絡会ニュース

子どもと教育・くらしを守る広島県立学校教職員連絡会

No.1330 2025/04/17 (THU)

発行 広島高校連絡会事務局

Email renraku-kuko@mx6.tiki.ne.jp

HP <http://ww6.tiki.ne.jp/~renraku-kuko/>

携帯 090-1180-7644 (村井義幸)

090-9738-8264 (望月照巳)

核兵器廃絶に向けて、行動する高校生たち

3月26日(水)、東京、静岡、愛知、福井、京都、大阪、広島、沖縄にある高校生平和ゼミナールの高校生約80名が、外務省に「日本政府に核兵器禁止条約に署名・批准を求める高校生署名」2万2465筆分を提出し

ました。広島からは、13名の高校生が参加しました。前回は、2年前の2022年8月に提出し、約1万2000筆で、この一年間高校生たちも各地で被爆者の話を聴いて学習しながら、積極的に署名活動に取り組みました。

高校生たちは、「沖縄では、有事を想定した避難計画と訓練が始まっていて、『もう戦前だ』との危機感が高まっている。そして、米兵による性暴力などが続いている、人権が守られていない。『核の傘』に頼るメリットはない」「愛知は軍需工場も多く、もし戦争になれば真っ先に攻撃の対象になる。日本政府

が核兵器禁止条約に参加すれば、世界へ大きなメッセージになる。『核抑止論』を捨てて、条約に署名・批准すべきだ」「唯一の戦争被爆国が被爆者の思いを理解せず、平和への態度を明確にできないことに不安を感じる」などと訴えました。

翌27日(木)は、まず9時30分にロシア大使館前に集合して抗議行動を行ない、地下鉄で渋谷駅に移動し、そこから「核兵器はいらない！パレード」を始めました。「核兵器と戦争はいらない！」「日本政府が核兵器禁止条約に署名・批准するまで、あきらめないで、がんばろう！」など高校生たちは、



行進しながら代わるがわるマイクを握って、沿道の人たちに力強く訴えました。

行進が終わってから近くの公園に集まり、参加した高校生たちは、「もっと平和のことを知らせたいと思った」「2日間の行動を通して、私たち高校生の力は、微力だけど、無力じゃないと思った」「平和に対して同じ思いを持っている仲間がいることに、希望が持てた」「この3月に高校を卒業したが、これからも平和のためにできることをやっていきたい」などの感想を述べ、最後に広島の高中生が、夏の集会への参加を呼びかけました。(望月照巳)



▼7月の参議院選挙が、目前に迫ってきました▼その前の東京都議選も大注目です。先週の「六文銭」では、「未来は明るいのか？」をタイトルにして、10年単位で見ると、歴史は蛇行したり、一時的には後退したりしながら、確実に前進していると、希望を込めて書いてみました▼そして、今日のメイン記事である「高校平和ゼミ」の地道で着実な行動は、希望そのものだと思います▼平和は、思想というよりも、行動するためのエネルギー源のような気がします。戦争は嫌だ、嘘と裏金の政治を乗り越えようと思う地点から、ジャンプして周囲の人々に呼びかける、街頭に出て署名活動をする、デモ行進(パレード)でアピールする力は、平和を望むからです。そして望む、思うことから飛躍して、行動に飛び込み、民主主義を身につけて行くのでしょうか。青春の模索を通じて青年たちは、「平和的な国家の国家及び社会の形成者」、主権者に成長します▼私たち元青年も、「二度目の戦前」だと嘆くよりも、平和憲法の申し子として、やるべきことをやり抜きましょう！